

概況

○ 学校種別

本統計調査の概況は、次のとおりである。

1 小学校

(場合別)

「休憩時間」に最も多く発生し、全体の半数を占めている。

(場所別)

「運動場・校庭」が最も多く、ついで「体育館」「教室」に多い。体育用具や遊具を使用中の災害も多く、施設面からみた安全管理も重要である。

(部位別)

「手・手指部」が最も多く、続いて「足関節部」「頭部」が多い。20年前（平成元年の給付データ）と比べると、「前腕部」の発生件数が半数近くに減少しているが、「歯部」の件数が多くなってきている傾向がみられる。歯に関する事故防止については『学校の管理下における歯・口のけが防止必携』（日本スポーツ振興センター発行）が参考になる。

(体育活動中の運動種目別)

「バスケットボール」と「跳び箱」が他の種目より格段に多い。そのあとに「サッカー」「ドッジボール」が続いている。

(時間帯別)

「10時」「13時」に極端に多く発生している。「10時」は業間休み、「13時」は昼食時休憩時間（昼休み）であり、いずれも「休憩時間」での多発の裏付けデータとなっている。なお、中学校・高等学校では業間休みを設けているところはほとんどないため、小学校と同じ傾向にはなっていない。

2 中学校

(場合別)

「課外活動」に最も多く発生している。「課外活動」のほとんどは「体育的部活動」によるものである。

(場所別)

「体育館」「運動場・校庭」が最も多い。身体的発達に伴い、体育も競技志向が強まる結果として多く発生するのではないかと推測される。次いで「教室」が多いが、小学校に比べ件数がかなり少なくなっている。

(部位別)

「手・手指部」が最も多く、ついで「足関節部」「眼部」「足・足指部」が多い。そのなかでも「眼部」は、20年前（平成元年の給付データ）に比べ、けがの増加が著しい。

(体育活動中の運動種目別)

球技中のけがが多く、全体の76.7%を占めている。その内訳は「バスケットボール」「サッカー」「バレーボール」「野球」の順で多い。球技以外の種目を含めても順位は変わらず、一般的に部員数の

多い部活でけがの発生件数が多い傾向がみられる。

(時間帯別)

「10時」「11時」に最も多く発生している。午前中に行われる教科体育によるものと思われ、次いで、「16時」「17時」の発生が多いが部活動中によるものと思われる。

3 高等学校

(場合別)

「課外指導」に最も多く発生している。「課外指導」のうち「体育的部活動」がほとんどを占めており、全体でも半数以上の発生割合となっている。

(場所別)

「体育館・屋内運動場」と「運動場・校庭」において、全体の約70%を占めている。このことは、「課外活動」つまり部活動中での事故が多いことを裏付けた結果といえる。

(部位別)

「足関節」と「手・手指部」の発生数が多い。また、部位のうち大項目で見ると「下肢部」の発生割合が最も多い(43.8%)。下肢部のけがについては、体幹部を鍛え体の中心(軸)を安定させることが有効とされている。詳しくはホームページ等で公表しているセンターの学校災害防止調査研究委員会第一部会の研究内容が参考となる。

(体育活動中の運動種目別)

高等学校でも、小学校・中学校と同じく「バスケットボール」にけがが最も多く発生している。2位は「サッカー」、3位は「野球」の順である。高校生では、体の成長に伴いより専門的で激しい運動を伴うため、大きなけがにつながることも多く、ルールや競技特性を十分理解させる必要がある。

(時間帯別)

「10時」「11時」「17時」に多く発生している。

4 幼稚園・保育所

(場合・場所別)

幼稚園・保育所ともに「保育中」における「園舎内」と「園舎外」でほとんどを占めている。幼稚園では「運動場・園庭」で最も多く発生しており、保育所では「保育室」での発生が最も多い。

(体育用具・遊具別)

「すべり台」が最も多いのは幼稚園・保育所ともにみられる傾向である。「すべり台」は逆さのぼりなどの誤った使い方によるものも多いため、すべり台の安全な使用方法の研究と、子どもたちへの「安全教育」の啓蒙も重要である。

(部位別)

幼稚園・保育所では順位が若干違うものの「頭部」、「眼部」、「歯部」が上位3項目を占めている。その他、「顔」に関する部位が多く続く。これは、友達同士による接触や自らの転倒によるものが多く、不意を突かれた時の対応がうまくできないことによると思われる。

(月別)

幼稚園・保育所では「10月」の発生割合が多くなっている。「10月」は、運動会などの体育的行事があり、身体を動かす機会が多いためと思われる。

○ グラフ別

1 負傷における場合別発生割合

学校の管理下を、各教科・道徳（各教科等）、特別活動、課外指導、休憩時間、寄宿舍、技能連携通学（園）中に分類し、各学校種ごとにそれぞれの割合を表したものが図1である。

幼稚園保育所については、保育中、通園中、寄宿舍に分類している。

小学校においては「休憩時間」に発生するケースが半数以上を占めている。教師の目の届きにくい時間帯であり、日頃からの注意喚起が必要である。中学校以上になると、年齢が高くなるにつれて「休憩時間」のけがが減少し、「課外活動」、つまり部活動の占める割合が非常に高くなる。部活動時のけがの予防には活動環境を整える等、安全指導が大切である。当センターの学校災害防止調査研究委員会 第一部会で作成している「体育的部活動のけが防止プログラム」を参考としたい。

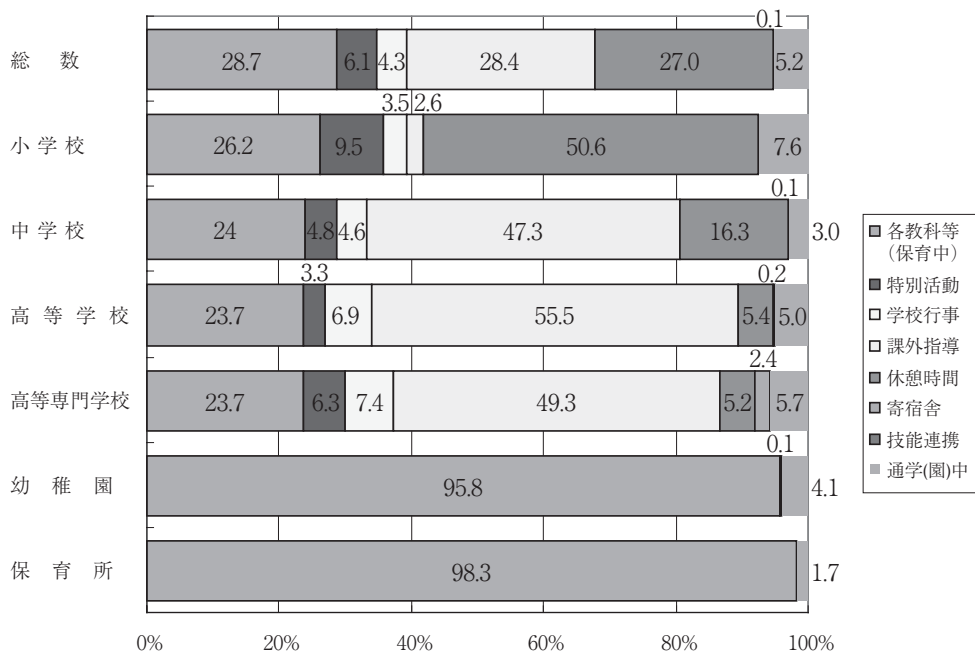


図1 負傷における場合別発生割合

表1

単位：%

	各教科等(保育中)	特別活動	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舍	技能連携	通学(園)中	合計
総数	28.7	6.1	4.3	28.4	27.0	0.1	0.0	5.2	100.0
小学校	26.2	9.5	3.5	2.6	50.6	0.0	-	7.6	100.0
中学校	24.0	4.8	4.6	47.3	16.3	0.1	-	3.0	100.0
高等学校	23.7	3.3	6.9	55.5	5.4	0.2	0.0	5.0	100.0
高等専門学校	23.7	6.3	7.4	49.3	5.2	2.4	-	5.7	100.0
幼稚園	95.8	-	-	-	-	0.1	-	4.1	100.0
保育所	98.3	-	-	-	-	0.0	-	1.7	100.0

単位：人

	各教科等(保育中)	特別活動	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舍	技能連携	通学(園)中	合計
総数	317,287	67,783	48,001	313,733	298,589	752	8	57,859	1,104,012
小学校	116,042	42,252	15,419	11,693	224,531	49	-	33,743	443,729
中学校	92,042	18,278	17,640	181,372	62,328	214	-	11,594	383,468
高等学校	51,098	7,107	14,770	119,520	11,609	397	8	10,841	215,350
高等専門学校	551	146	172	1,148	121	57	-	132	2,327
幼稚園	22,110	-	-	-	-	27	-	938	23,075
保育所	35,444	-	-	-	-	8	-	611	36,063

※ 帳票1-2参照

2 負傷における種類別発生割合

年齢が上がるにつれて比較的軽度な「挫傷打撲」から症状の重い「捻挫」「骨折」へ発生割合が移行しているが、これは、より激しい運動や子どもたちの活動・行動範囲が広がるためと思われる。

各学校種ごとに、どんな負傷が多いかを示したものが図2である。

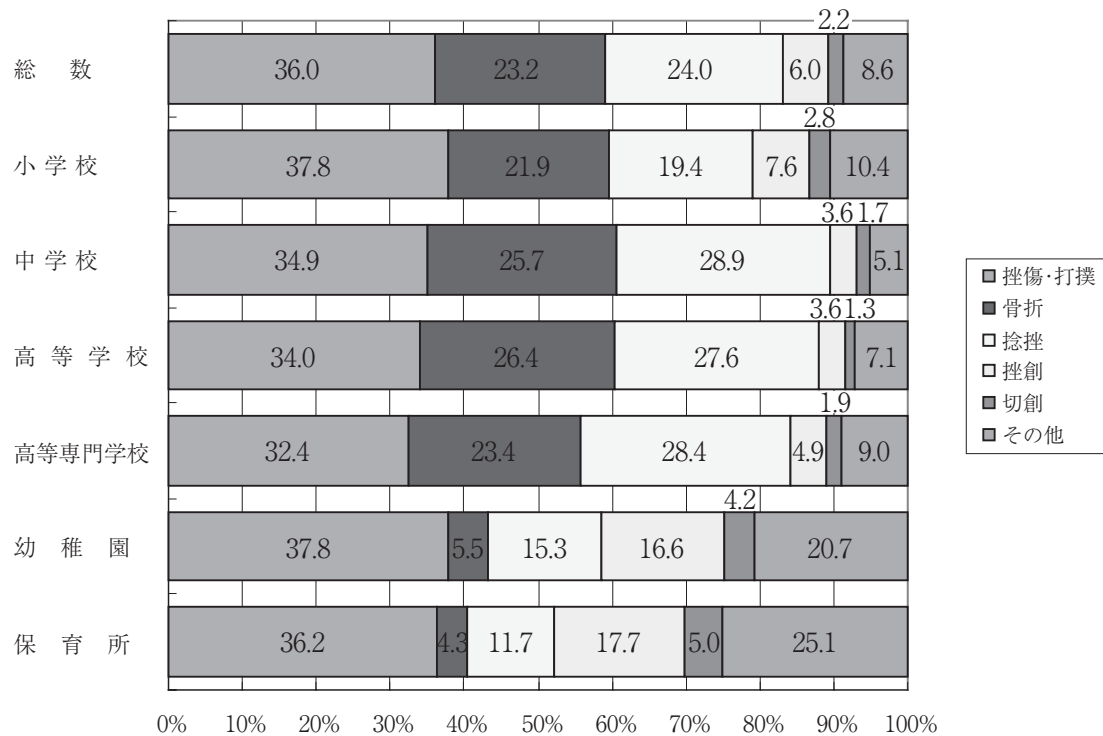


図2 負傷における種類別発生割合

表2

単位：%

	挫傷・打撲	捻挫	骨折	挫創	切創	その他	合計
総数	36.0	22.2	25.0	6.0	2.2	8.6	100.0
小学校	37.8	19.4	21.9	7.6	2.8	10.4	100.0
中学校	34.9	25.7	28.9	3.6	1.7	5.1	100.0
高等学校	34.0	26.4	27.6	3.6	1.3	7.1	100.0
高等専門学校	32.4	23.4	28.4	4.9	1.9	9.0	100.0
幼稚園	37.8	5.5	15.3	16.6	4.2	20.7	100.0
保育所	36.2	4.3	11.7	17.7	5.0	25.1	100.0

単位：人

	挫傷・打撲	捻挫	骨折	挫創	切創	その他	合計
総数	397,335	245,224	275,824	65,838	24,529	95,262	1,104,012
小学校	167,823	86,294	97,092	33,850	12,318	46,352	443,729
中学校	133,873	98,663	110,797	13,827	6,640	19,668	383,468
高等学校	73,113	56,895	59,505	7,849	2,781	15,207	215,350
高等専門学校	753	544	662	113	45	210	2,327
幼稚園	8,716	1,274	3,536	3,820	958	4,771	23,075
保育所	13,057	1,554	4,232	6,379	1,787	9,054	36,063

※ 帳票3-1(2)、3-2(2)、3-3(2)、3-4(2)、3-5(2)、3-6(2)参照

3 負傷における部位別発生割合

保育所・幼稚園・小学校では「頭部」「顔部」の発生割合が高くなっているが、これは転倒した時に手をつくという、とっさの動作がうまくとれないためと思われる。中学校・高等学校となるにつれて、「上肢部」「下肢部」の発生割合が増加するのも特徴である。

各学校種ごとに、各部位における負傷の発生割合を示したものが図3である。

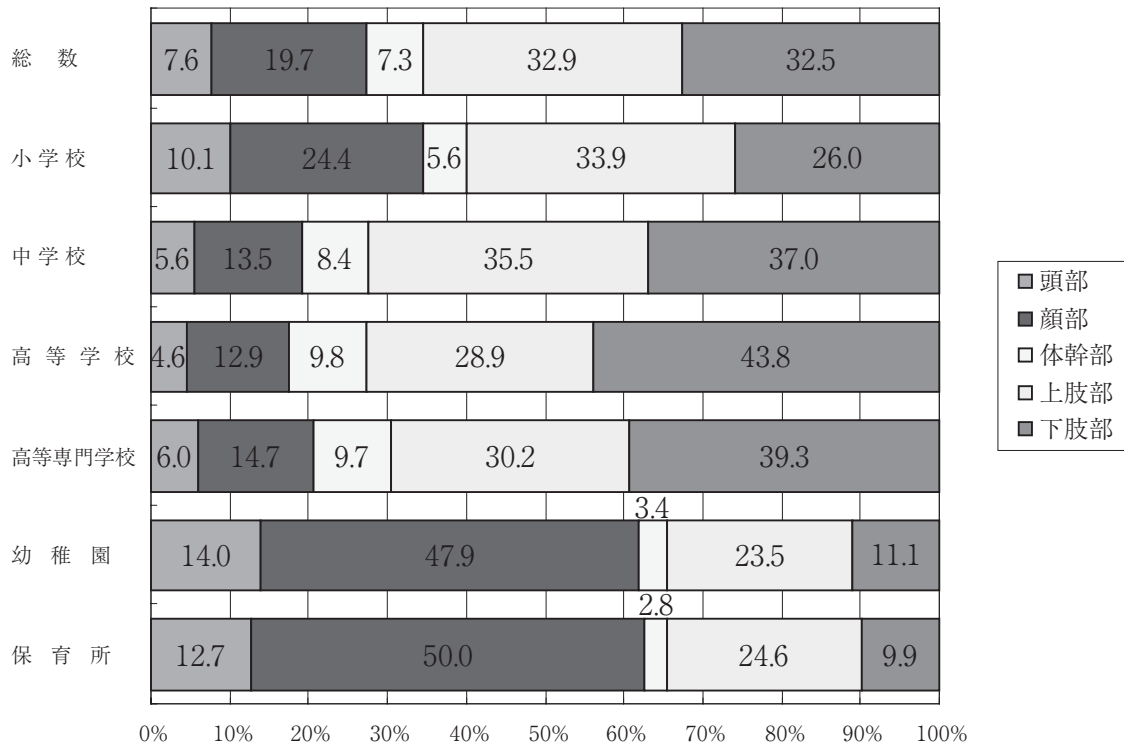


図3 負傷における部位別発生割合

表3

単位：%

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	合計
総数	7.6	19.7	7.3	32.9	32.5	100.0
小学校	10.1	24.4	5.6	33.9	26.0	100.0
中学校	5.6	13.5	8.4	35.5	37.0	100.0
高等学校	4.6	12.9	9.8	28.9	43.8	100.0
高等専門学校	6.0	14.7	9.7	30.2	39.3	100.0
幼稚園	14.0	47.9	3.4	23.5	11.1	100.0
保育所	12.7	50.0	2.8	24.6	9.9	100.0

単位：人

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	合計
総数	84,381	217,121	80,121	363,727	358,662	1,104,012
小学校	44,994	108,079	24,798	150,415	115,443	443,729
中学校	21,466	51,811	32,299	136,132	141,760	383,468
高等学校	9,969	27,794	21,006	62,182	94,399	215,350
高等専門学校	140	343	226	703	915	2,327
幼稚園	3,232	11,055	791	5,432	2,565	23,075
保育所	4,580	18,039	1,001	8,863	3,580	36,063

※ 帳票3-1(1)、3-2(1)、3-3(1)、3-4(1)、3-5(1)、3-6(1)参照

4 負傷と疾病の割合

本センターの災害共済給付制度は、学校の管理下の事故災害（負傷、疾病、死亡及び障害）について給付の対象としているが疾病の範囲について、支給対象の疾病が限定されているため、どの学校種においても、疾病の割合が極めて低くなっている。

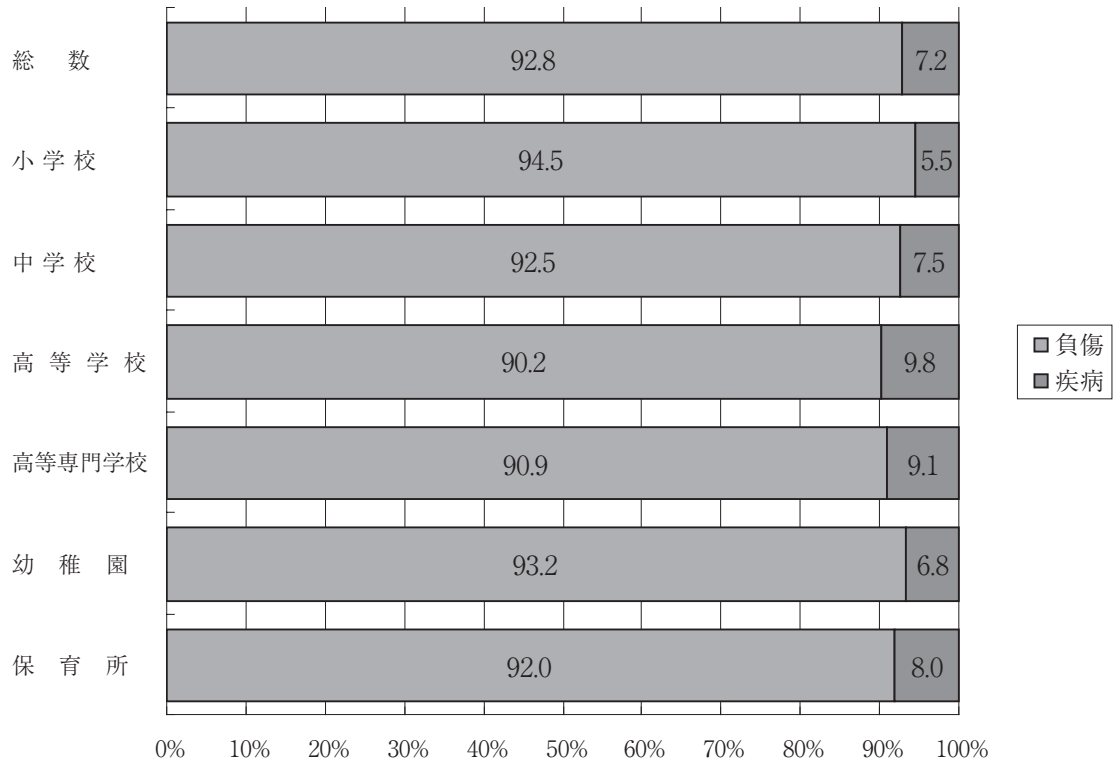


図4 負傷と疾病の割合

表4

単位：%

	負傷	疾病	合計
総数	92.8	7.2	100.0
小学校	94.5	5.5	100.0
中学校	92.5	7.5	100.0
高等学校	90.2	9.8	100.0
高等専門学校	90.9	9.1	100.0
幼稚園	93.2	6.8	100.0
保育所	92.0	8.0	100.0

単位：人

	負傷	疾病	合計
総数	1,104,012	85,617	1,189,629
小学校	443,729	25,895	469,624
中学校	383,468	31,243	414,711
高等学校	215,350	23,443	238,793
高等専門学校	2,327	232	2,559
幼稚園	23,075	1,674	24,749
保育所	36,063	3,130	39,193

※ 帳票1-1参照

5 負傷における男女の割合

各学校種ごとの負傷における男女の割合については図5のとおりである。

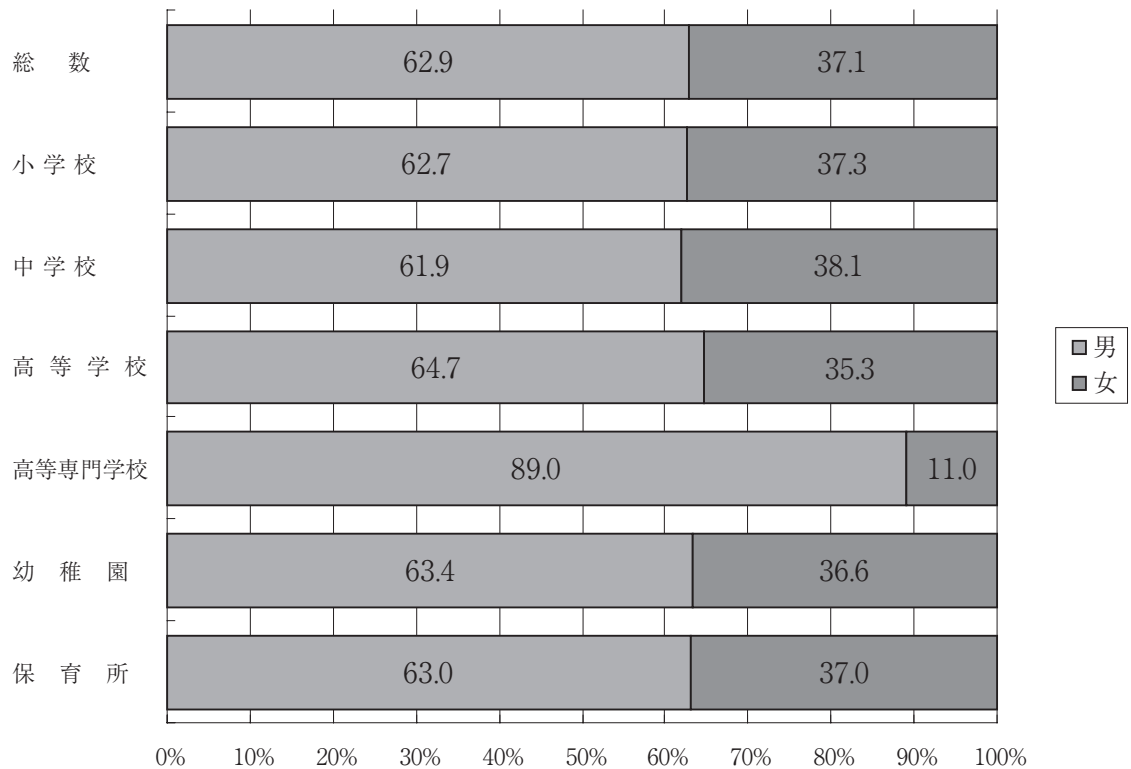


図5 負傷における男女の割合

表5

単位：%

	男	女	合計
総数	62.9	37.1	100.0
小学校	62.7	37.3	100.0
中学校	61.9	38.1	100.0
高等学校	64.7	35.3	100.0
高等専門学校	89.0	11.0	100.0
幼稚園	63.4	36.6	100.0
保育所	63.0	37.0	100.0

単位：人

	男	女	合計
総数	694,508	409,504	1,104,012
小学校	278,418	165,311	443,729
中学校	237,276	146,192	383,468
高等学校	139,381	75,969	215,350
高等専門学校	2,070	257	2,327
幼稚園	14,638	8,437	23,075
保育所	22,725	13,338	36,063

※ 帳票1-1参照

6 疾病における男女の割合

各学校種ごとの疾病における男女の割合については図6のとおりである。

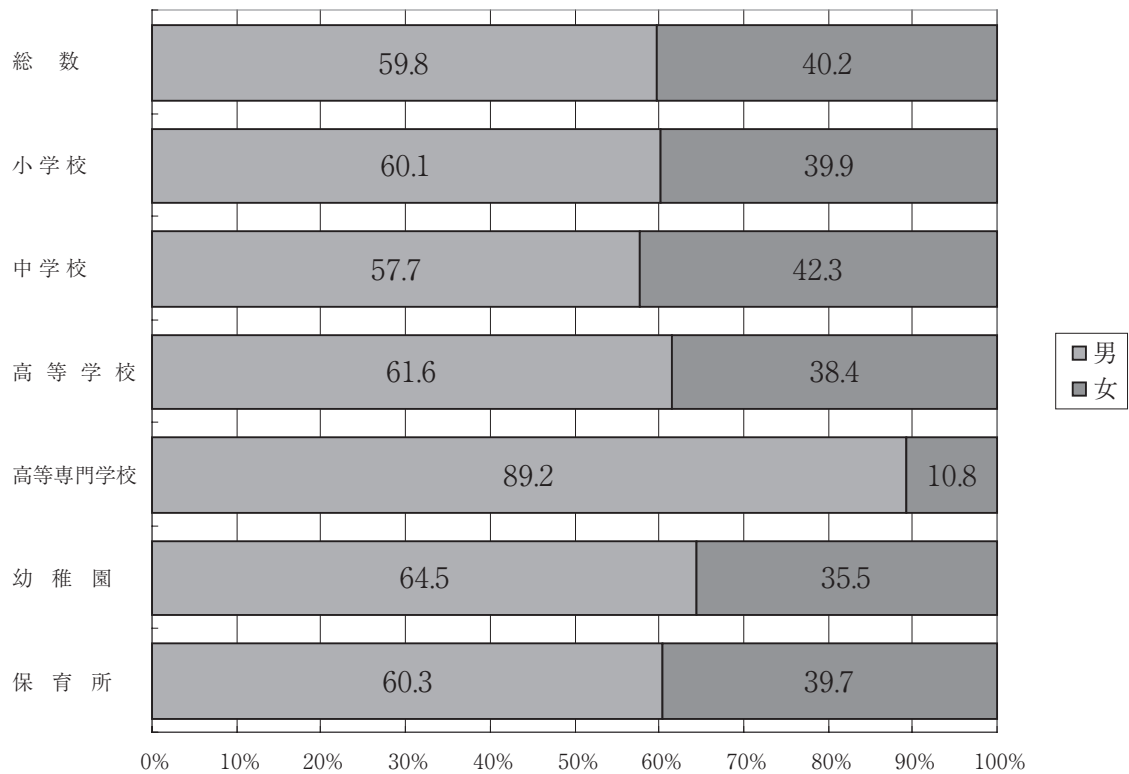


図6 疾病における男女の割合

表6

単位：%

	男	女	合計
総数	59.8	40.2	100.0
小学校	60.1	39.9	100.0
中学校	57.7	42.3	100.0
高等学校	61.6	38.4	100.0
高等専門学校	89.2	10.8	100.0
幼稚園	64.5	35.5	100.0
保育所	60.3	39.7	100.0

単位：人

	男	女	合計
総数	51,186	34,431	85,617
小学校	15,558	10,337	25,895
中学校	18,014	13,229	31,243
高等学校	14,439	9,004	23,443
高等専門学校	207	25	232
幼稚園	1,080	594	1,674
保育所	1,888	1,242	3,130

※ 帳票1-1参照